

[x264](#) は MPEG-4 AVC/H.264 ビデオストリーム にエンコードするためのフリーライブラリです。

広義には [Codec](#) (COder/DECoder: コーデック) として通っているようですが、x264 にはデコードエンジンが含まれていないため、正確には Codec ではなく Encoder (符号器) であると言えます。そのためデコード (再生) するためには、デコードエンジンを搭載しているソフトウェア (Windows では `ffdshow` 等) または対応プレーヤー (VLC Media Player 等) が必要となります。

なお当サイトで公開している [Video for Windows](#) 版で使用できる AVI 形式ファイル では、MPEG-4 AVC/H.264 のサポートフォーマットには含まれておらず、あくまで MPEG-4 AVC/H.264 の一部技術を使用できるにとどまります。

というか、本家ではすでに過去の遺物ということで煙たがられている存在かもしれません。いずれにせよ、x264vfw は近い将来衰退する運命にあると考えて良いと思います。(YV12 への変換機能が削除されてから衰退の度合いが激しくなったような・・・) 管理人も x264 に関しては cli 版のユーザーですので、vfw はビルド後のエンコードテスト以外では使っておりません。

もし x264 で本来使えるオプションをすべて利用できる状態で MPEG-4 AVC/H.264 ネイティブなビデオストリームを作成したいとお考えならば、

1. [x264-devel](#) のプロジェクトからソースをダウンロードし、自分でビルドして利用する (Win 以外では一番スタンダードな方法かと)
2. [Jarod](#) 様等で配布されている x264cli 版 (Windows 用の場合は x264.exe) を利用する
3. [MEncoder](#) を利用する
4. [MeGUI](#) を利用する (Jarod 様で配布されています)
5. [携帯動画変換君](#) を利用する
6. [seraphy](#) 様が改造・配布されている x264 バイナリ (x264afs.exe or x264.exe + x264gui.auo) を利用する

等の方法を取ることを推奨いたします。

国内に限定すると、GUI が用意されていて使い勝手も良くユーザー数が多いことから、特にモバイル向けは方法 5 を、PC 向けなら方法 6 を推奨します。(AviUtil ユーザーなら方法 6 を推奨) AviUtil ユーザーの方の場合、方法 6 をとることにより、簡単に cli へ移行することが可能です。またすでに編集・加工済のビデオソース等を簡単に (H.264 + AAC).mp4 形式に変換したいのであれば、[ESP@Wiki](#) 様で公開されている [Esperance](#) を利用すれば簡単にエンコードができます。(GUI 版は Windows XP 用と MacOSX 用がそれぞれ公開されています)

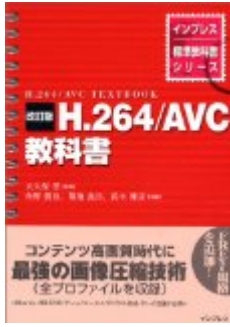
そしてこれらを利用する際には、これら有用なツールを開発・公開されている方々に感謝と敬意を。

なお [k 本的に無料ソフト・フリーソフト](#) 様において、当ページで公開している x264vfw の使い方の説明が書かれております。是非ご参照ください。

要参照 : [Wikipedia 英語版](#) とか、[Wikipedia 日本語版](#) とか

[<< x264vfw encoder 配布ページへ戻る](#)

MPEG-4 AVC/H.264 関連書籍



改訂版 H.264/AVC 教科書 (インプレス標準教科書シリーズ) (大型本)
大久保 榮 (著), 角野 真也 (編集), 菊池 義浩 (編集), 鈴木 輝彦 (編集)



ユビキタス技術 動画像の高効率符号化 MPEG-4とH.264 (ユビキタス技術) (単行本)
小野 定康 (著), 浅井 光太郎 (著), 村上 篤道 (著)

Total: 35419 + 9075